

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2007年9月27日から2027年9月30日まで	
運用方針	主として、マザーファンド受益証券に投資し、長期的な信託財産の成長を目的に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ラテンアメリカ諸国*の株式を主要投資対象とします。ただし、投資対象はこれらの国に限定されないほか、運用者の判断で見直される場合があります。 *MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスの構成国を指します。
組入制限	当ファンドの マザーファンド 組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年9月30日、ただし当該日が休業日の場合は翌営業日）に、利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から基準価額水準、市況動向等を勘案し分配を行います。 なお、分配を行わない場合があります。	

シュローダー・ラテンアメリカ株投資

第15期 運用報告書(全体版)

(決算日 2022年9月30日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・ラテンアメリカ株投資」は、2022年9月30日に第15期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI EMラテンアメリカ・インデックス* (円ベース) (旧ベンチマーク)		MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス* (円ベース) (新ベンチマーク)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配)	税込み分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率					
	円	円	%	円	%	円	%	%	%	%	百万円
11期(2018年10月1日)	6,543	0	△9.1	53,937.82	△8.2			98.9	—	—	6,693
12期(2019年9月30日)	6,675	0	2.0	54,917.57	1.8			97.5	—	—	5,456
13期(2020年9月30日)	5,090	0	△23.7	37,212.61	△32.2			99.2	—	—	3,491
14期(2021年9月30日)	6,888	0	35.3	51,023.54	37.1			97.4	—	—	3,945
15期(2022年9月30日)	8,778	0	27.4	65,090.21	27.6	88,672.52	—	98.5	—	—	4,393

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 株式組入比率にはオプション証券等を含みます。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、株式組入比率、株式先物比率および投資信託証券組入比率は、実質組入比率を記載しております。

(注) MSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース) (旧ベンチマーク) は、基準価額応答日のものを使用しております。

※当ファンドは、約款でMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) (新ベンチマーク) をベンチマークとすることを定めております。

ベンチマークとは、ファンドの運用をする際、投資成果の規準となる指標のことです。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) から変更しているため、旧ベンチマークと新ベンチマークを併記しております。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) から変更したため、算出可能なMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) の騰落率のみ記載しております。

*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) は、MSCI Inc. が開発したMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスをもとに、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社が独自に算出したものです。

*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスは、MSCI EMラテンアメリカ・インデックスを基に、1銘柄の組入比率の上限を指数全体の10%、5%以上組入れる銘柄の組入比率の合計を指数全体の40%までに制限したもので、投資ファンドの信用リスクの分散を求めるUCITS指令 (欧州委員会が定めたEU域内における投資ファンドの統一基準) の趣旨に沿って指数構成銘柄の組入比率を調整した指数です。当指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI Inc. が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc. は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc. は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc. の許諾なしにデータを複製・頒布・使用することは禁じられております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI EMラテンアメリカ・インデックス※ (円ベース) (旧ベンチマーク)		MSCI EM ラテンアメリカ10/40インデックス※ (円ベース) (新ベンチマーク)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
(期 首) 2021年 9月30日	円 6,888	% —	51,023.54	% —			% 97.4	% —	% —
10月末	6,757	△ 1.9	49,843.04	△ 2.3			98.2	—	—
11月末	6,428	△ 6.7	47,664.62	△ 6.6			98.9	—	—
12月末	6,611	△ 4.0	49,934.21	△ 2.1	68,013.28	—	98.4	—	—
2022年 1月末	7,240	5.1	53,729.12	5.3	73,171.07	—	99.1	—	—
2月末	7,701	11.8	57,096.84	11.9	77,537.63	—	96.7	—	—
3月末	9,110	32.3	68,694.69	34.6	93,324.21	—	97.4	—	—
4月末	8,566	24.4	63,323.99	24.1	86,225.12	—	98.1	—	—
5月末	8,938	29.8	68,068.10	33.4	92,422.61	—	98.3	—	—
6月末	8,053	16.9	60,873.44	19.3	82,750.58	—	99.2	—	—
7月末	8,216	19.3	61,170.28	19.9	83,367.61	—	98.5	—	—
8月末	8,906	29.3	67,155.28	31.6	91,418.17	—	95.9	—	—
(期 末) 2022年 9月30日	8,778	27.4	65,090.21	27.6	88,672.52	—	98.5	—	—

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率にはオプション証券等を含みます。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、株式組入比率、株式先物比率および投資信託証券組入比率は、実質組入比率を記載しております。

(注) MSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース) (旧ベンチマーク) は、基準価額応答日のものを使用しております。

※当ファンドは、約款でMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) (新ベンチマーク) をベンチマークとすることを定めております。

ベンチマークとは、ファンドの運用をする際、投資成果の規準となる指標のことです。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) から変更しているため、旧ベンチマークと新ベンチマークを併記しております。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) から変更したため、算出可能なMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) の騰落率のみ記載しております。

*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) は、MSCI Inc. が開発したMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスをもとに、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社が独自に算出したものです。

*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスは、MSCI EMラテンアメリカ・インデックスを基に、1銘柄の組入比率の上限を指数全体の10%、5%以上組入れる銘柄の組入比率の合計を指数全体の40%までに制限したもので、投資ファンドの信用リスクの分散を求めるUCITS指令 (欧州委員会が定めたEU域内における投資ファンドの統一基準) の趣旨に沿って指数構成銘柄の組入比率を調整した指数です。当指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI Inc. が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc. は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc. は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc. の許諾なしにデータを複製・頒布・使用することは禁じられております。

○運用経過

(2021年10月1日～2022年9月30日)

期中の基準価額等の推移



期首：6,888円

期末：8,778円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：27.4%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース)は、期首(2021年9月30日)の値が基準価額と同一となるように、MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス(円ベース)は、2021年12月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス(円ベース)(新ベンチマーク)です。2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース)(旧ベンチマーク)から変更しているため、旧ベンチマークと新ベンチマークを併記しております。

○基準価額の主な変動要因

期首6,888円でスタートした基準価額は、8,778円(分配後)で期末を迎え、期首比27.4%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。一方、期首におけるベンチマークであるMSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース)(旧ベンチマーク)は、27.6%の上昇で、当ファンドは、旧ベンチマークを0.1下回りました。

ラテンアメリカ株式市場は、コモディティ価格の上昇などが支援材料となり堅調に推移したブラジルやペルー、チリ等が牽引し、上昇しました。

投資環境

当期の先進国株式市場は、ロシアによるウクライナへの侵攻が重しとなる局面もあったものの、上昇して終わりました。ロシアによるウクライナへの侵攻に対し欧米諸国は多くの制裁措置を実施しました。また、この侵攻を受けてコモディティ価格が上昇し、物価上昇や金融政策の引き締めが経済成長見通しに与える影響についての懸念が高まりました。このような環境下、ラテンアメリカ株式市場は上昇しました。

ブラジルは、コモディティ価格の上昇などが支援材料となり、株式市場は上昇しました。中央銀行による政策金利の引き上げが物価上昇率に影響を与えたとみられ、足元では消費者物価指数が下落傾向となり、経済指標も改善が見られています。ペルーは、政治的な不透明感が高まった一方、コモディティ価格の上昇が支援材料となり、株式市場は上昇しました。チリは、憲法改正をめぐるプロセスの一進一退が重しとなったものの、コモディティ価格の上昇が支援材料となり、株式市場は上昇しました。コロンビアは、株式市場は上昇したものの、大統領選挙の実施に伴う政治的な不透明感の高まり等が材料視され、上昇幅は相対的に小幅となりました。メキシコも株式市場は上昇しました。

(各市場の騰落は、円ベースで記載しております。)

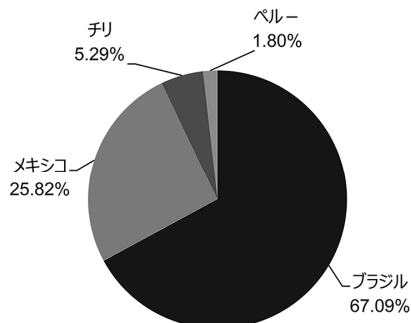
当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンドの運用について

- ・ブラジルは、為替が魅力的な水準にあることや、財政赤字に改善が見られていること等を評価し、オーバーウェイトを維持しました。
- ・メキシコは、景気モメンタムが悪化していること等を懸念し、オーバーウェイトからアンダーウェイトへと変更しました。
- ・チリは、政策の不透明感等を懸念しアンダーウェイトとしていましたが、魅力的な株価水準等を評価しオーバーウェイトへと変更しました。
- ・ペルーは、政治リスク等を懸念し、アンダーウェイトを維持しました。
- ・コロンビアは、巨額の双子の赤字等を懸念し、アンダーウェイトを維持しました。

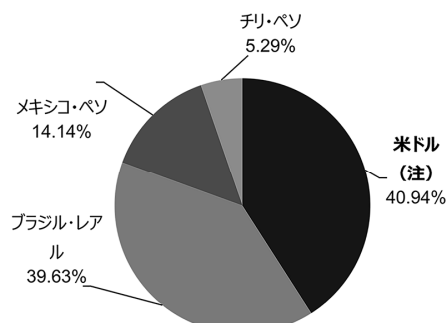
作成基準日：2022年9月30日

■ 国/地域別組入状況



・ キャッシュ等は含まず。

■ 通貨別組入状況



・ キャッシュ等は含まず。

(注) 米ドルに占めるADR比率 100.00%

■ 組入上位10業種

順位	業種	投資比率
1	銀行	21.18%
2	素材	15.00%
3	エネルギー	12.15%
4	運輸	9.44%
5	食品・生活必需品小売り	7.60%
6	電気通信サービス	7.51%
7	公益事業	4.91%
8	食品・飲料・タバコ	4.31%
9	ソフトウェア・サービス	4.25%
10	各種金融	3.43%

■ (ご参考) 為替市場の変動

通貨ペア	前月末比
ブラジル・リアル/円	-0.97%
メキシコ・ペソ/円	4.34%
チリ・ペソ/円	-4.11%
ペルー・ソル/円	0.56%
米ドル/円	4.46%

出所：投信協会発表の為替レート

ADR (米国預託証券) について

外国企業・外国政府あるいは米国企業の外国法人子会社などが発行する有価証券に対する所有権を示す、米ドル建て記名式譲渡可能預り証券のこと。当該外国企業に対して米国企業と同様の厳格なディスクロージャー・ルールが適用され、米国会計基準に基づく財務諸表の作成と監査が必要となり、財務諸表の信頼性の向上が期待できます。また、米国での知名度向上が見込まれるだけでなく、米国の投資家による投資が容易となることから、現地株に比べて流動性が高まる場合があります。ADRは基本的に米ドル建てですが、その裏付けとなっているのは一般的に現地（通貨建て）株です。このため、ADRの価格は主に1. 現地株の価格、2. 現地通貨と米ドルの為替レート、の影響を受けることから、基本的には円ベースで考えるとADRへの投資には現地株への投資と同様の投資結果が見込まれます。

※ベビーファンドベース。投資比率は、マザーファンドの投資比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率より算出してあります。

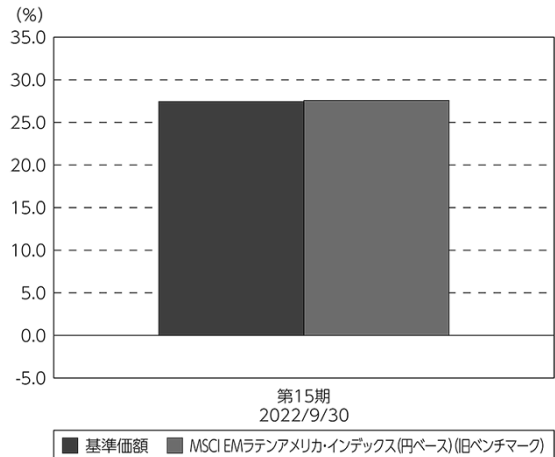
※国/地域、業種につきましては委託会社の分類に基づいて表記してあります。

※同一企業が発行する種類の異なる株式等（優先株・普通株等）を組み入れることがあり、それらは個別の銘柄として記載してあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当期、当ファンドは期首におけるベンチマークを下回るパフォーマンスとなりました。国別では、ブラジルのオーバーウェイト等がプラスに寄与した一方、ペルーのアンダーウェイト等がマイナスに影響しました。銘柄選択では、メキシコの石油・ガス会社（エネルギー）のオーバーウェイト等がプラスに寄与した一方、チリの産業コングロマリット（エネルギー）やペルーの銀行（金融）のオーバーウェイト等がマイナスに影響しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス（円ベース）（新ベンチマーク）です。
2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス（円ベース）（旧ベンチマーク）から変更したため、算出可能な期首におけるベンチマーク、MSCI EMラテンアメリカ・インデックス（円ベース）（旧ベンチマーク）の騰落率を記載しております。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第15期
	2021年10月1日～ 2022年9月30日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,369

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

短期的な見通しは引き続き懸念材料があるとみています。2023年の経済成長およびインフレ見通しについては不透明感が高くなっています。米国経済は堅調さを見せていますが、予想以上に堅調なものになれば、米連邦準備制度理事会(FRB)は利上げを続け、米ドル高も長期化する可能性があり、これらのことは新興国にとってはマイナスに影響する可能性があります。グローバルの軟調な経済成長が貿易等の重しとなる可能性もあります。

一方、ラテンアメリカ諸国について、ポジティブな材料もあるとみています。

中国は、引き続きゼロコロナ政策が経済成長の重しとなっており、足元でも新型コロナウイルス感染者数の増加を受けて一部地域でロックダウン(都市封鎖)や規制が実施されています。不動産セクターについても依然問題を抱えています。一方、2022年10月に中国共産党大会の実施が予定されており、2023年3月の全国人民代表大会で主要な人事が発表されるとみていますが、このような重要な政治イベントが終了すれば、新型コロナウイルスに関する政策の柔軟性が高まるものとみています。ゼロコロナ政策から「エンデミック」なアプローチへ政策が転換されれば、株式市場にとってはプラス材料となるとみており、ラテンアメリカ諸国についてもこの恩恵が期待できます。

インフレについてもラテンアメリカ諸国の株式市場および通貨にとって重要な要素となります。グローバルでの軟調な需要や、サプライチェーンのボトルネックの解消等は物価上昇率の低下につながる可能性があります。物価上昇率の低下は金融政策の緩和余地の拡大につながるものとみています。また、米国の物価上昇についてもFRBの政策の方向性に影響を及ぼすことから、ラテンアメリカ諸国にとって重要な要素であると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年10月1日～2022年9月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 161 (77) (77) (7)	% 2.068 (0.990) (0.990) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・購入後の情報提供 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および事務手続き等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	8 (8)	0.103 (0.103)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.004 (0.004)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	21 (13) (1) (3) (3)	0.264 (0.167) (0.012) (0.043) (0.042)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	190	2.439	
期中の平均基準価額は、7,784円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

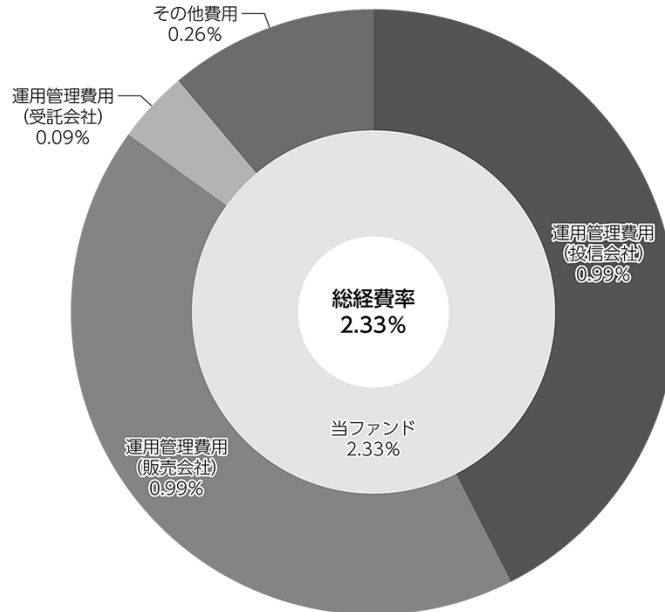
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.33%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年10月1日～2022年9月30日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンド	千口 13,744	千円 15,661	千口 636,907	千円 676,897

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2021年10月1日～2022年9月30日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	シュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	5,237,324千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,117,114千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.27	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月1日～2022年9月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月30日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンド	千口 4,358,669	千口 3,735,507	千円 4,440,397

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
シュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンド	4,440,397	99.9
コール・ローン等、その他	3,849	0.1
投資信託財産総額	4,444,246	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,369,810千円)の投資信託財産総額(4,457,570千円)に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=144.81円、1メキシコペソ=7.1872円、1ブラジルレアル=26.7937円、1チリペソ=0.149961円、1コロンビアペソ=0.031961円、1ペルーソル=36.4188円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月30日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,444,246,652
シュローダー・ラテンアメリカ株マザーファンド(評価額)	4,440,397,407
未収入金	3,849,245
(B) 負債	51,194,410
未払解約金	3,849,245
未払信託報酬	46,118,716
その他未払費用	1,226,449
(C) 純資産総額(A-B)	4,393,052,242
元本	5,004,825,046
次期繰越損益金	△ 611,772,804
(D) 受益権総口数	5,004,825,046口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,778円

[元本増減]

期首元本額	5,727,905,862円
期中追加設定元本額	18,444,334円
期中一部解約元本額	741,525,150円

(注) 当ファンドは、マザーファンドにおいて外貨建資産の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○損益の状況 (2021年10月1日~2022年9月30日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	1,030,517,950
売買益	1,128,197,239
売買損	△ 97,679,289
(B) 信託報酬等	△ 88,772,548
(C) 当期損益金(A+B)	941,745,402
(D) 前期繰越損益金	△1,252,244,776
(E) 追加信託差損益金	△ 301,273,430
(配当等相当額)	(109,690,140)
(売買損益相当額)	(△ 410,963,570)
(F) 計(C+D+E)	△ 611,772,804
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 611,772,804
追加信託差損益金	△ 301,273,430
(配当等相当額)	(109,775,545)
(売買損益相当額)	(△ 411,048,975)
分配準備積立金	1,076,173,665
繰越損益金	△1,386,673,039

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(328,997,406円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(109,775,545円)および分配準備積立金(747,176,259円)より分配対象収益は1,185,949,210円(10,000口当たり2,369円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本（受益者のファンドの購入価額）と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

<お知らせ>

ファンドのベンチマークを「MSCI EMラテンアメリカ・インデックス（円ベース）」から「MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス（円ベース）」へ変更しました。（2021年12月18日から適用）

〈シュロダー・ラテンアメリカ株マザーファンド 第15期〉

【計算期間 2021年10月1日から2022年9月30日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年9月30日（当該日が休業日の場合は翌営業日）
運用方針	信託財産の成長を目的に積極的な運用を行います。
主要投資対象	ラテンアメリカ諸国*の株式を主要投資対象とします。ただし、投資対象はこれらの国に限定されないほか、運用者の判断で見直される場合があります。 *MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスの構成国を指します。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI EMラテンアメリカ・インデックス* (円ベース) (旧ベンチマーク)		MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス* (円ベース) (新ベンチマーク)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円	%	期騰落率	期中率	期騰落率	期中率				
11期(2018年10月1日)	8,124	△7.2	53,937.82	△8.2			97.9	—	—	6,765
12期(2019年9月30日)	8,456	4.1	54,917.57	1.8			96.4	—	—	5,516
13期(2020年9月30日)	6,628	△21.6	37,212.61	△32.2			98.1	—	—	3,530
14期(2021年9月30日)	9,161	38.2	51,023.54	37.1			96.2	—	—	3,992
15期(2022年9月30日)	11,887	29.8	65,090.21	27.6	88,672.52	—	97.5	—	—	4,440

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 株式組入比率にはオプション証券等を含みます。

(注) MSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) は、基準価額応答日のものを使用しております。

※当ファンドは、約款でMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) (新ベンチマーク) をベンチマークとすることを定めております。

ベンチマークとは、ファンドの運用をする際、投資成果の規準となる指標のことです。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) から変更しているため、旧ベンチマークと新ベンチマークを併記しております。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) から変更したため、算出可能なMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) の騰落率のみ記載しております。

*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) は、MSCI Inc. が開発したMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスをもとに、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社が独自に算出したものです。

*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスは、MSCI EMラテンアメリカ・インデックスを基に、1銘柄の組入比率の上限を指数全体の10%、5%以上組入れる銘柄の組入比率の合計を指数全体の40%までに制限したもので、投資ファンドの信用リスクの分散を求めるUCITS指令 (欧州委員会が定めたEU域内における投資ファンドの統一基準) の趣旨に沿って指数構成銘柄の組入比率を調整した指数です。当指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI Inc. が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc. は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc. は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc. の許諾なしにデータを複製・頒布・使用することは禁じられております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI EMラテンアメリカ・インデックス* (円ベース) (旧ベンチマーク)		MSCI EM ラテンアメリカ10/40インデックス* (円ベース) (新ベンチマーク)		株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
(期 首)	円	%		%		%	%	%	%
2021年9月30日	9,161	—	51,023.54	—			96.2	—	—
10月末	9,002	△ 1.7	49,843.04	△ 2.3			98.0	—	—
11月末	8,581	△ 6.3	47,664.62	△ 6.6			98.5	—	—
12月末	8,838	△ 3.5	49,934.21	△ 2.1	68,013.28	—	97.8	—	—
2022年1月末	9,692	5.8	53,729.12	5.3	73,171.07	—	98.4	—	—
2月末	10,320	12.7	57,096.84	11.9	77,537.63	—	95.9	—	—
3月末	12,212	33.3	68,694.69	34.6	93,324.21	—	97.4	—	—
4月末	11,502	25.6	63,323.99	24.1	86,225.12	—	97.9	—	—
5月末	12,022	31.2	68,068.10	33.4	92,422.61	—	97.9	—	—
6月末	10,856	18.5	60,873.44	19.3	82,750.58	—	98.6	—	—
7月末	11,091	21.1	61,170.28	19.9	83,367.61	—	97.7	—	—
8月末	12,038	31.4	67,155.28	31.6	91,418.17	—	95.1	—	—
(期 末)									
2022年9月30日	11,887	29.8	65,090.21	27.6	88,672.52	—	97.5	—	—

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率にはオプション証券等を含みます。

(注) MSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース)(旧ベンチマーク)は、基準価額応答日のものを使用しております。

※当ファンドは、約款でMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス(円ベース)(新ベンチマーク)をベンチマークとすることを定めております。

ベンチマークとは、ファンドの運用をする際、投資成果の規準となる指標のことです。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース)(旧ベンチマーク)から変更しているため、旧ベンチマークと新ベンチマークを併記しております。

2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース)(旧ベンチマーク)から変更したため、算出可能なMSCI EMラテンアメリカ・インデックス(円ベース)(旧ベンチマーク)の騰落率のみ記載しております。

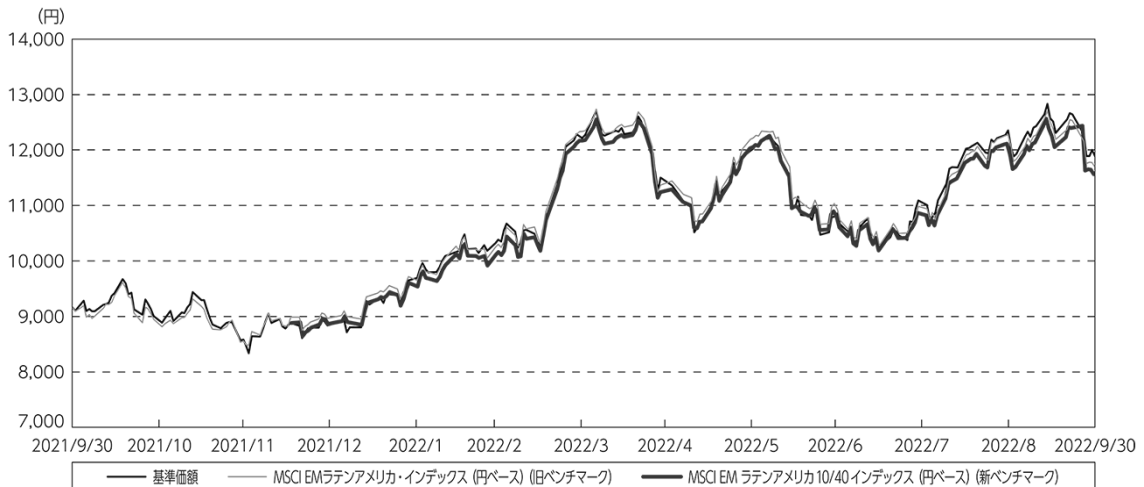
*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス(円ベース)は、MSCI Inc.が開発したMSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスをもとに、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社が独自に算出したものです。

*MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックスは、MSCI EMラテンアメリカ・インデックスを基に、1銘柄の組入比率の上限を指数全体の10%、5%以上組入れる銘柄の組入比率の合計を指数全体の40%までに制限したもので、投資ファンドの信用リスクの分散を求めるUCITS指令(欧州委員会が定めたEU域内における投資ファンドの統一基準)の趣旨に沿って指数構成銘柄の組入比率を調整した指数です。当指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用することは禁じられております。

○運用経過

(2021年10月1日～2022年9月30日)

期中の基準価額等の推移



- (注) MSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) は、期首 (2021年9月30日) の値が基準価額と同一となるように、MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) は、2021年12月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース) (新ベンチマーク) です。2021年12月18日付でMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) から変更しているため、旧ベンチマークと新ベンチマークを併記しております。

○基準価額の主な変動要因

期首9,161円でスタートした基準価額は、11,887円で期末を迎え、期首比29.8%の上昇となりました。一方、期首におけるベンチマークであるMSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース) (旧ベンチマーク) は、27.6%の上昇で、当ファンドは、旧ベンチマークを2.2%上回りました。

ラテンアメリカ株式市場は、コモディティ価格の上昇などが支援材料となり堅調に推移したブラジルやペルー、チリ等が牽引し、上昇しました。

投資環境

当期の先進国株式市場は、ロシアによるウクライナへの侵攻が重しとなる局面もあったものの、上昇して終わりました。ロシアによるウクライナへの侵攻に対し欧米諸国は多くの制裁措置を実施しました。また、この侵攻を受けてコモディティ価格が上昇し、物価上昇や金融政策の引き締めが経済成長見通しに与える影響についての懸念が高まりました。このような環境下、ラテンアメリカ株式市場は上昇しました。

ブラジルは、コモディティ価格の上昇などが支援材料となり、株式市場は上昇しました。中央銀行による政策金利の引き上げが物価上昇率に影響を与えたとみられ、足元では消費者物価指数が下落傾向となり、経済指標も改善が見られています。ペルーは、政治的な不透明感が高まった一方、コモディティ価格の上昇が支援材料となり、株式市場は上昇しました。チリは、憲法改正をめぐるプロセスの一進一退が重しとなったものの、コモディティ価格の上昇が支援材料となり、株式市場は上昇しました。コロンビアは、株式市場は上昇したものの、大統領選挙の実施に伴う政治的な不透明感の高まり等が材料視され、上昇幅は相対的に小幅となりました。メキシコも株式市場は上昇しました。

(各市場の騰落は、円ベースで記載しております。)

当ファンドのポートフォリオ

- ・ブラジルは、為替が魅力的な水準にあることや、財政赤字に改善が見られていること等を評価し、オーバーウェイトを維持しました。
- ・メキシコは、景気モメンタムが悪化していること等を懸念し、オーバーウェイトからアンダーウェイトへと変更しました。
- ・チリは、政策の不透明感等を懸念しアンダーウェイトとしていましたが、魅力的な株価水準等を評価しオーバーウェイトへと変更しました。
- ・ペルーは、政治リスク等を懸念し、アンダーウェイトを維持しました。
- ・コロンビアは、巨額の双子の赤字等を懸念し、アンダーウェイトを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当期、当ファンドは期首におけるベンチマークを下回るパフォーマンスとなりました。国別では、ブラジルのオーバーウェイト等がプラスに寄与した一方、ペルーのアンダーウェイト等がマイナスに影響しました。銘柄選択では、メキシコの石油・ガス会社（エネルギー）のオーバーウェイト等がプラスに寄与した一方、チリの産業コングロマリット（エネルギー）やペルーの銀行（金融）のオーバーウェイト等がマイナスに影響しました。

○今後の運用方針

短期的な見通しは引き続き懸念材料があるとみています。2023年の経済成長およびインフレ見通しについては不透明感が高くなっています。米国経済は堅調さを見せていますが、予想以上に堅調なものになれば、米連邦準備制度理事会（FRB）は利上げを続け、米ドル高も長期化する可能性があります。これらのことは新興国にとってはマイナスに影響する可能性があります。グローバルの軟調な経済成長が貿易等の重しとなる可能性もあります。

一方、ラテンアメリカ諸国について、ポジティブな材料もあるとみています。

中国は、引き続きゼロコロナ政策が経済成長の重しとなっており、足元でも新型コロナウイルス感染者数の増加を受けて一部地域でロックダウン（都市封鎖）や規制が実施されています。不動産セクターについても依然問題を抱えています。一方、2022年10月に中国共産党大会の実施が予定されており、2023年3月の全国人民代表大会で主要な人事が発表されるとみていますが、このような重要な政治イベントが終了すれば、新型コロナウイルスに関する政策の柔軟性が高まるものとみています。ゼロコロナ政策から「エンデミック」なアプローチへ政策が転換されれば、株式市場にとってはプラス材料となるとみており、ラテンアメリカ諸国についてもこの恩恵が期待できます。

インフレについてもラテンアメリカ諸国の株式市場および通貨にとって重要な要素となります。グローバルでの軟調な需要や、サプライチェーンのボトルネックの解消等は物価上昇率の低下につながる可能性があります。物価上昇率の低下は金融政策の緩和余地の拡大につながるものとみています。また、米国の物価上昇についてもFRBの政策の方向性に影響を及ぼすことから、ラテンアメリカ諸国にとって重要な要素であると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年10月1日～2022年9月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.103 (0.103)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.003 (0.003)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	22 (17) (4)	0.208 (0.166) (0.042)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	33	0.314	
期中の平均基準価額は、10,442円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年10月1日～2022年9月30日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 6,707 (165)	千米ドル 7,472 (321)	百株 7,881 (-)	千米ドル 9,621 (321)
	メキシコ	7,084	千メキシコペソ 40,034	16,531	千メキシコペソ 44,142
	ブラジル	20,966 (900)	千ブラジルリアル 43,262 (1,401)	29,588 (-)	千ブラジルリアル 44,353 (975)
	チリ	97,562	千チリペソ 1,776,420	23,787	千チリペソ 1,113,096
	イギリス	-	千英ポンド -	423	千英ポンド 277

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年10月1日～2022年9月30日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,237,324千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,117,114千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.27

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月1日～2022年9月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月30日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERICA MOVIL-ADR SERIES L	1,109	938	1,594	230,847	電気通信サービス	
GRUPO TELEVISIA SA-SPONS ADR	688	—	—	—	メディア・娯楽	
FOMENTO ECONOMICO MEX-SP ADR	76	112	691	100,157	食品・飲料・タバコ	
PETROLEO BRASILEIRO S. A. -ADR	1,791	1,591	1,931	279,714	エネルギー	
PETROLEO BRASILEIRO-SPON ADR	1,005	518	562	81,520	エネルギー	
VALE SA-SP ADR	1,560	2,160	2,734	396,050	素材	
GRUPO AEROPORTUARIO PAC-ADR	70	49	658	95,307	運輸	
BANCO BRADESCO-ADR	903	927	343	49,670	銀行	
ITAU UNIBANCO HLDNG-PREF ADR	3,501	2,993	1,556	225,432	銀行	
GLOBALANT SA	18	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
AMBEV SA-SPN ADR	1,498	2,155	616	89,269	食品・飲料・タバコ	
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	86	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
INTERCORP FINANCIAL SERVICES	174	267	538	78,015	銀行	
BANCO SANTANDER MEXICO -ADR	1,146	330	164	23,815	銀行	
VISTA ENERGY SAB DE CV-ADR	111	408	382	55,320	エネルギー	
CI&T INC/UNITED STATES-A	—	461	460	66,645	ソフトウェア・サービス	
GRUPO FINANCIERO GALICIA-ADR	176	—	—	—	銀行	
MERCADOLIBRE INC	3	—	—	—	小売	
小計	株数・金額	13,925	12,915	12,235	1,771,767	
	銘柄数<比率>	17	13	—	<39.9%>	
(メキシコ)			千メキシコペソ			
CEMEX SAB-CPO	11,680	—	—	—	素材	
WALMART DE MEXICO-SER V	3,598	4,445	32,446	233,197	食品・生活必需品小売り	
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	1,350	2,036	26,196	188,281	銀行	
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	1,433	1,413	9,758	70,135	素材	
CORP MOCTEZUMA-SER *	1,874	—	—	—	素材	
GMEXICO TRANSPORTES SAB DE C	3,684	3,383	11,233	80,736	運輸	
GRUPO TRAXION SAB DE CV	—	2,896	5,505	39,571	運輸	
小計	株数・金額	23,621	14,174	85,140	611,921	
	銘柄数<比率>	6	5	—	<13.8%>	
(ブラジル)			千ブラジルリアル			
BRAESPAR SA -PREF	423	612	1,385	37,128	素材	
ITAUSA SA-PREF	3,980	2,488	2,391	64,067	銀行	
BANCO BRADESCO S. A.	2,907	2,765	4,496	120,466	銀行	
WEG SA	1,442	871	2,627	70,411	資本財	
LOJAS RENNER S. A.	1,476	1,912	5,151	138,039	小売	
CCR SA	—	1,970	2,453	65,742	運輸	
GERDAU SA-PREF	737	—	—	—	素材	
BANCO DO BRASIL SA	1,393	845	3,240	86,820	銀行	
LOCALIZA RENT A CAR	—	837	4,975	133,301	運輸	
TOTVS SA	1,125	992	2,834	75,950	ソフトウェア・サービス	
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	1,449	—	—	—	公益事業	
BR MALLS PARTICIPACOES SA	3,585	3,936	3,617	96,938	不動産	
EZ TEC EMPREENDIMENTOS E PARTICIPACOES	—	1,435	2,924	78,361	耐久消費財・アパレル	
CENTRAIS ELETRICAS BRAS-PR B	—	1,189	5,338	143,045	公益事業	
DEXCO SA	1,194	1,528	1,395	37,385	素材	
BS3 SA - BRASIL BOLSA BALCAO	6,724	4,461	5,621	150,629	各種金融	

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等
	株数	株数	評価額	評価額	
(ブラジル)	百株	百株	千ブラジルリアル	千円	
ENERGISA SA-UNITS	—	651	2,709	72,586	公益事業
MAGAZINE LUIZA SA	3,876	—	—	—	小売
RAIA DROGASIL SA	2,399	1,696	3,754	100,593	食品・生活必需品小売り
HAPVIDA PARTICIPACOES E INVE	2,507	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
LOCAWEB SERVICOS DE INTERNET	—	1,941	1,640	43,961	ソフトウェア・サービス
AMBIPAR PARTICIPACOES	332	—	—	—	商業・専門サービス
AERIS INDUSTRIA E COMERCIO D	3,745	—	—	—	資本財
MOBLY SA	1,390	—	—	—	小売
COMPANHIA BRASILEIRA DE ALUM	2,457	1,672	1,907	51,096	素材
TIM SA	—	3,092	3,698	99,104	電気通信サービス
3R PETROLEUM OLEO E GAS SA	—	524	1,838	49,265	エネルギー
LOCALIZA RENT A CAR SA-RIGHT	—	2	2	58	運輸
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	43,149 19	35,428 21	64,005 —	1,714,956 <38.6%>
(チリ)			千チリペソ		
SOC QUIMICA Y MINERA CHILE-B	—	50	446,470	66,953	素材
EMPRESAS COPEC SA	616	740	452,451	67,850	エネルギー
S. A. C. I. FALABELLA	1,141	—	—	—	小売
BANCO DE CHILE	—	74,742	626,343	93,927	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,758 2	75,533 3	1,525,265 —	228,730 <5.2%>
(イギリス)			千英ポンド		
FRESNILLO PLC	423	—	—	—	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	423 1	— —	— —	— <—%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	82,878 45	138,052 42	— —	4,327,375 <97.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年9月30日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 4,327,375	% 97.1
コール・ローン等、その他	130,195	2.9
投資信託財産総額	4,457,570	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(4,369,810千円)の投資信託財産総額(4,457,570千円)に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=144.81円、1メキシコペソ=7.1872円、1ブラジルリアル=26.7937円、1チリペソ=0.149961円、1コロンビアペソ=0.031961円、1ペルーソル=36.4188円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月30日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	4,483,063,686	
コール・ローン等	80,453,958	
株式(評価額)	4,327,375,845	
未収入金	25,510,854	
未収配当金	49,723,029	
(B) 負債	42,572,225	
未払金	38,722,198	
未払解約金	3,849,245	
その他未払費用	782	
(C) 純資産総額(A-B)	4,440,491,461	
元本	3,735,507,199	
次期繰越損益金	704,984,262	
(D) 受益権総口数	3,735,507,199口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,887円	

[元本増減]

期首元本額	4,358,669,799円
期中追加設定元本額	13,744,863円
期中一部解約元本額	636,907,463円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・ラテンアメリカ株投資	3,735,507,199円
-------------------	----------------

○損益の状況 (2021年10月1日～2022年9月30日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	421,287,597	
受取配当金	418,199,361	
受取利息	185,098	
その他収益金	2,936,686	
支払利息	△ 33,548	
(B) 有価証券売買損益	697,587,046	
売買益	1,406,275,539	
売買損	△ 708,688,493	
(C) 保管費用等	△ 10,034,223	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,108,840,420	
(E) 前期繰越損益金	△ 365,782,310	
(F) 追加信託差損益金	1,916,625	
(G) 解約差損益金	△ 39,990,473	
(H) 計(D+E+F+G)	704,984,262	
次期繰越損益金(H)	704,984,262	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

ファンドのベンチマークを「MSCI EMラテンアメリカ・インデックス (円ベース)」から「MSCI EMラテンアメリカ10/40インデックス (円ベース)」へ変更しました。(2021年12月18日から適用)